山形県：ゼロエネルギー「やまがた省エネ健康住宅」普及促進計画

環境省

事業計画の特徴

- 夏が暑く冬が寒い等の山形県の特性を踏まえ、**国の省エネ基準を大きく上回る、県独自の高断熱・高気密住宅の認証制度である「やまがた省エネ健康住宅」**に、自家消費型の屋根置き太陽光発電設備及び蓄電池を併せて設置することで、**住宅のZEH化を促進**。
- 当該住宅支援に対する県独自の支援事業においては、県産材活用と地元工務店による施工を要件化しており、**県産木材の利用拡大**を図りつつ、**施工事業者の登録制度を創設し、事業者の育成も図る**。
- **地域エネルギー会社との再エネを活用した環境・経済・社会課題の解決に向けたプラットフォーム**が立ち上がっており、本事業と連携した取組について検討。

事業計画の概要（民間） 再エネ：3,101kW

取組（個人）	規模
太陽光発電設備の導入	• 346件 • 3,101kW
蓄電池の導入	• 346件 • 2,075kWh
エネルギーマネジメントシステムの導入	• 102件
県民が新築する、国省エネ基準を上回る断熱・気密性能を持つ「やまがた省エネ健康住宅」への補助事業	• 178件

やまがた省エネ健康住宅の断熱性能

断熱のレベル	やまがた省エネ健康住宅 Y-G3	やまがた省エネ健康住宅 Y-G2	やまがた省エネ健康住宅 Y-G1	ZEH基準（等級５）	次世代省エネ基準（等級４）
断熱性能 U_A値（W/㎡・K）	0.23	0.34	0.46	0.6	0.75
気密性能 C値（㎠/㎡）	1.0	1.0	1.0	—	—
世界の省エネ基準	●山形県（0.23）	●フランス（0.36） ●ドイツ（0.40） ●イギリス（0.42） ●アメリカ（0.43）			●日本（0.75） 地域区分４の場合

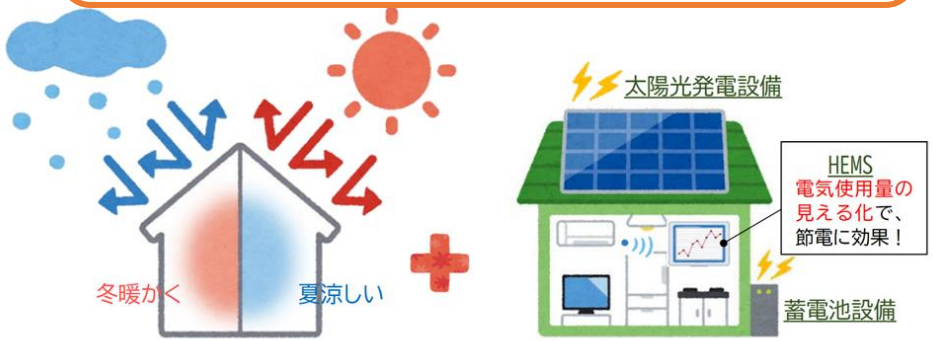
暖 ← → 寒

事業計画の効果・費用

再エネ導入	CO2削減	総事業費	交付金額	計画期間
3,101kW	40,763 t-CO2	6.9億円	4.7億円	令和4年度～令和8年度

取組のイメージ

ゼロエネルギーな「やまがた省エネ健康住宅」の普及促進



やまがた省エネ健康住宅
山形県独自の高断熱・高気密住宅
少ないエネルギーで
快適に暮らすことができます

太陽光発電設備等の導入
使用するエネルギーを自家発電することで
光熱費が節約でき
温室効果ガス排出削減につながります